

社会福祉法人みたか福祉会

令和 6 年度 事業報告書

1. 令和 6 年度のまとめ
2. 法人概要
3. 法人役員等
4. 役員会議等の開催
5. 事業所概要
6. 活動報告

1. 令和6年度のまとめ

令和6年度は、下記の通り、期初の事業運営方針として取組んできました。

1. 「より良いサービス提供を継続するため、人材戦略（人財の定着化）」
2. 「ご利用者・職員・地域の方々に安心していただける健全な経営」
3. 「事業を安定して維持継続できるための経営基盤づくり」

それぞれの実施事項について以下の通り報告申し上げます。

1、より良いサービス提供を継続するため、人材戦略（人財の定着化）

（1）人財の定着

令和6年度は各部門における会議を定着化し、定例的に実施している法人本部の運営会議をはじめ、事業計画に基づいた各会議において、職員への情報共有、事業運営に対する参加意識の向上に努めてまいりました。

職員間のコミュニケーションを活性化するため、ナースケアセンター管理者を統括施設長兼務から既存職員（看護師）へ変更、グループホームは、現グループホーム長の定年退職に伴い、各フロアにフロアリーダーを配置し、新たに管理者経験のある職員を管理者として採用、山田統括施設長は兼務を外し、看護師として4事業全体を管理する立場に変更しました。

また、入職時における法人理念や行動指針の伝達、部門管理者からの給与改定時や必要に応じた個別面談などを行い、意見交換や法人運営方針の共有に努めました。

グループホームは、令和6年度の介護報酬改定で新設された、「協力医療機関連携体制加算」体制に基づき、三鷹あゆみクリニック、ふれあいデンタルクリニックとの「協力医療機関協定書」を改めて締結、業務体制の見直しを行い、事業所内の安全衛生や感染対策にも十分な行動をとることができ、医療職がいることの安心感が生まれ職員の定着にもつながる体制を整えました。

（2）人財の育成

新型コロナウイルス感染症対策として導入したオンライン研修が定着し、研修の多くをオンライン化し、計画的な研修受講体制の整備と実施をしてきました。また、介護技術面を強化するため、新たに令和5年度に導入した研修配信先からの動画を活用し、職員の介護に対する意識や意欲の向上に努めています。

看護職員には外部研修への参加を推奨し受講してもらっています。

また、緊急対応時における職員の意識を高めるため、調布消防署の協力を得て、介護職員全員に救急救命講習受講を完了しました。

ナースケアセンターでは、医療サービスが必要なご利用者の受入れを進めるため、令和6年度に「喀痰吸引等事業者」の登録をおこなうとともに介護職員2名への研修をおこない「認定特定行為業務従事者」の認定を受けています。

新入職員には特に入職時の研修を強化し、「ふぁみりあ」の一員として法人理念や事業への取組みを周知徹底するとともに、特に入職後のOJTは職員の理解度や成長に合わせた支援を行い、職員の不安を取り除くとともに、利用者支援への技能向上につなげることに努めています。

(3) 人財の確保

人財の確保においては、人材育成機関との連携による確保、求人媒体を使用した採用、職員紹介会社の活用、派遣人財の活用など、さまざまな方面で確保に努めてきました。特に、都社協が実施する「介護職員就業促進事業」を活用し、人材採用と採用費用の助成金活用を進めてきました。

2、ご利用者・職員・地域の方々に安心していただける健全な経営

(1) 運営体制の整備

令和6年度の報酬改定に伴い、法令に定められた基準に沿ったサービス提供をおこない、事業所に求められる運営体制を整備するため、以下の取組みを進めました。

① 運営体制や業務の取組み方の見直し

運営体制の再構築を図るため、各部門管理者の交代を行い、グループホームではフロアごとにリーダー職を配置し、統括施設長の兼務体制から全事業を統括するなどの職員体制の整備をおこないました。また、現在の運営体制を点検し利用者の状態に合わせたより質の高いサービスの提供に努め、法令を遵守した支援体制の整備を進めてまいりました。

② 感染症対策、非常災害時の事業継続への対応

令和6年度から必須となったBCP（業務継続計画）を実行性のあるものにしてゆくため、計画の内容共有、防災訓練によるシミュレーション、感染症拡大防止研修に加えて、介護職員全員が普通救命講習を受講しました。

また、助成金を活用し、3台の非常用ポータブル電源機器（各フロア1台ずつ）を購入しました。

③ 虐待、ハラスメントへの対応強化

事故防止・虐待防止・ハラスメント防止の観点から、法人内における各リスクを最小限に抑えるために、行動指針の周知や業務の平準化をおこなってまいりました。その結果、新型コロナウイルス感染症による感染拡大を最小限に抑えるべく職員間の意識の共有がはかれ、虐待やハラスメントに対しても職員の意識向上につなげることができました。

④ 多様な働き方への受け入れ態勢の検討

介護職員の負担軽減のために、介護記録ソフトを導入しましたが、十分な活用が出来ていない状況です。

また、令和7年4月からの「育児・介護休業法」の改正に伴い、当法人の「育児・介護休業規程」も変更しましたが、多様な働き方ができる仕事のあり方については、引き続き検討を進めてまいります。

(2) 認知度の向上

医療機関からの利用者紹介や密接な連携、三鷹市の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのPR活動、地域ケアネット委員会への参加を続けることにより、具体的なご利用につながるケースも増えてきました。

さらには、法人ホームページやウェブ媒体での発信力強化の一環として、SEO対策（マップエンジン最適化）としてGoogleビジネスプロフィールの見直しをおこないました。

引き続き、人材の確保や外部への認知度向上につなげるため、随時見直しを進めて

まいります。

3、事業を安定して維持継続できるための経営基盤づくり

(1) 財務体制の安定化

令和6年度は金融機関からの返済元金の支払い猶予を受けたことや、保育運営委託会社を変更したことによる運営委託費の大幅な圧縮、さらには人材確保や物価高騰支援等の補助金を得ることができたため、黒字決算で終えることができました。

事業計画に盛り込まれた目標やプロセスを職員にも可視化してきたことにより、稼働率を意識し高めてゆくための課題の共有や、業務の見直しにつながり、グループホームでは平均稼働率の目標98%に大幅に近づけることができました。しかしながら、看護小規模多機能や訪問看護では利用者の状態悪化による利用終了などにより、収益の改善について、当初の目標達成はできませんでした。

令和7年度は引き続き利用者の獲得に力を入れ、稼働率を意識し、業務の効率化と人財の有効的な配置により、補助金や助成金に頼らない安定した財務体制の構築をはかりたいと考えます。

(2) 事業継続に向けた基盤整備

令和6年度は禅林寺様からの寄付により、パソコンの入れ替えや介護記録ソフトのクラウド化の導入、訪問看護では、国保連への請求を紙媒体からオンラインでの伝送への切り替え、訪問看護計画書をAIで作成する仕組みを導入など業務運営の効率化や、新しい車いすの導入による利用者支援の安全性を高めることができました。さらには東京都の「非常用電源整備促進事業補助金」を申請し、3台の非常用電源の確保もできました。しかしながら、開設から7年目となり、利用者や職員の方々に安心して安全に過ごしていただける施設として、そして適正な事業運営をおこなってゆく事業者であるための施設設備や機器類の更新は、資金繰りの関係上、十分におこなえませんでした。

また、社会福祉法人として、地域密着型事業をおこなっている事業者として、三鷹市における地域包括ケアシステムの一員として、今まで以上に地域とのネットワーク強化が求められています。地域に認知され地域で事業運営を継続してゆくためのネットワークづくりと協力体制の構築については、法人代表が副会長を務める三鷹市介護保険事業者連絡協議会を通じた事業者間の連携強化、福祉Labo どんぐり山プロジェクトのアドバイザーとして行政との連携を継続しておこなってまいりました。また、地域においては統括施設長の新川中原地域ケアネット委員としての地域連携の強化と子ども食堂の関わりによる多世代の地域連携の実施などにより、今まで以上に地域連携に力を注ぐことができました。

以上の通り、令和6年度はグループホーム・保育両事業の収支の安定化、職員の離職率の改善は達成しています。すべての項目において盤石な事業運営や法人運営をおこなえた訳ではありませんが、財務状況は安定化の兆しが見えてまいりました。しかしながら、社会的弱者の方々を支援してゆく事業の性質上、稼働率は常に高い状態を継続できるわけではありません。そのため、全職員が一丸となって期初にあげた計画を理解し、目標達成に向け相互に協力し合いながら実行してゆくことが大切になります。そのためにも各部門が組織的に活動できるような体制の構築を進めてゆきたいと考えております。

最後になりますが、引き続き地域の中に必要とされ、職員が安心し、安全に業務がおこなえるよう、さらに利用者の皆様にも安心して過ごしていただける事業所を目指して、体制整備をおこなってまいります。

理事長 山田義剛

2. 法人概要

法人名	社会福祉法人みたか福祉会		
所在地	〒181-0005 東京都三鷹市中原4丁目34番22号		
法人設立日 (認可日)	平成29年1月10日		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型共同生活介護事業 ・看護小規模多機能型居宅介護事業 ・訪問看護事業 ・企業主導型保育事業 		
事業開始日	平成30年3月1日		
職員体制 (2025.3.31現在)	職 種 別	○統括施設長兼グループホーム長 常勤1名 ※看護職員兼務 グループホーム長補佐 常勤1名 ○ナースケアセンター長 常勤1名 ※看護職員兼務 ・介護支援専門員 3名(常勤2名/非常勤1名) ※3名=介護職員兼務 ・介護職員 24名(常勤14名/非常勤9名/派遣1名) ・看護職員 5名(常勤0名/非常勤5名) ・調理職員 4名(常勤0名/非常勤4名) ・事務職員 2名(常勤2名/非常勤0名) <u>合計41名</u>	
	部 門 別	・グループホーム 23名(常勤10名/非常勤12名/派遣1名) ・ナースケアセンター 12名(常勤6名/非常勤6名) (訪問看護ステーション 6名(ナースケアセンターと兼務)) ・調理員 4名(非常勤4名) ・法人管理課 2名(常勤2名) <u>合計41名</u> (保育園5名:保育士4名+事務員1名)	

3. 法人役員等(五十音順/敬称略)

項 目	氏 名(主な肩書き/2025.3.31現在)
理事長	山田 義剛
理 事	稲場 克美(社会福祉法人みたか福祉会 事務長) 加藤 雅江(杏林大学医学部 健康福祉学科 教授) 酒井 利長(株式会社三鷹利久 代表取締役) 西尾 隆(国際基督教大学 名誉教授) 山田 早苗(多世代コミュニティホームふぁみりあ 統括施設長)
監 事	酒井 利高(小金井市介護保険運営協議会 副会長) 佐々木信夫(税理士法人マック・ジェイ 代表社員)

評議員	有江 典子（こどもデイサービスらびい 管理者） 岩松 国一（特定非営利活動法人わかばの会 副理事長） 香川 卓見（三鷹市大沢地域包括支援センター センター長） 国沢 真弓（一般社団法人発達障がいファミリーサポートMarble 代表） 野村 優子（杏林大学医学部付属病院 小児科医 医師） 星野 和子（三鷹市赤十字奉仕団 委員長） 松木 隆佳（リベラルアーツ法律事務所 所長 弁護士） 宮崎陽市郎（株式会社ミタカロジスティクス 代表取締役）
評議員 選任・解任委員	酒井 利高（小金井市介護保険運営協議会 副会長） 品川 健（社会福祉法人みたか福祉会 法人管理課 職員） 田中今朝壽（三鷹市介護認定審査会 委員）

4. 役員会議等の開催

項 目	実施日	内 容
理事会	第 1 回理事会 令和 6 年 5 月 27 日	第 1 号議案：令和 5 年度事業報告 第 2 号議案：令和 5 年度決算報告 第 3 号議案：理事の退任に伴う役員候補者選任案 第 4 号議案：評議員選任候補者選任案 第 5 号議案：評議員選任・解任委員会の開催 第 6 号議案：評議員会の開催日時、議案 報告事項 1：監事監査報告 報告事項 2：理事長の職務執行状況の報告
	第 2 回理事会 令和 7 年 3 月 10 日	第 1 号議案：令和 6 年度 補正予算（案） 第 2 号議案：令和 7 年度 事業計画（案） 第 3 号議案：令和 7 年度 収支予算（案） 報告事項 1：理事長の職務執行状況の報告

項 目	実施日	内 容
評議員会	定時評議員会 令和 6 年 6 月 14 日	第 1 号議案：令和 5 年度事業報告 第 2 号議案：令和 5 年度決算報告 第 3 号議案：理事の退任に伴う役員候補者選任 報告事項 1：監事監査報告 報告事項 2：理事長の職務執行状況の報告

項 目	実施日	内 容
評議員 選任・解任 委員会	第 1 回 令和 6 年 6 月 14 日	第 1 号議案：評議員の選任

項 目	実施日	監事名	監査項目
監事監査	令和 6 年 5 月 23 日	酒井利高 佐々木信夫	法人定款第 11 条第 1 項の規定に基づき、 令和 5 年度事業に係る理事の業務執行の状況及 び法人の財産の状況

5. 事業所概要

事業所名	定 員
グループホームふぁみりあ	利用定員 18 名（1 ユニット 9 名）
ナースケアセンターふぁみりあ	登録定員 29 名（1 日の利用定員：通所 15 名／宿泊 5 名）
訪問看護ステーションふぁみりあ	利用定員 定数なし
ふぁみりあ保育園	利用定員 11 名（0 歳＝3 名／1 歳＝4 名／2 歳＝4 名）

6. 活動報告

◇法人運営に関すること

- ・ B C P（業務継続計画）の改訂
- ・ 給与規程の改訂（処遇改善支援補助金対応）
- ・ 育児・介護休業規程の改訂
- ・ 設備資金借入金および運営資金借入金元金返済猶予申請

◇法人内での会議

- ・ 月 2 回：運営会議および危機管理会議
- ・ 偶数月：G H & N C 運営推進会議
- ・ 各事業の事業計画に基づいた各種会議

◇法人内での研修

- ・ 各事業の事業計画に基づいた各研修（新任職員・既存職員）
- ・ 避難訓練（火災を想定した通報・消火・避難の訓練）

◇法人外での会合・研修

- ・ G H 看小多機連絡会 4・7・10・1 月
- ・ ケアネット・しんなか（地域住民団体）の会合参加
- ・ ケア専門職交流会（地域包括支援センター主催）の研修参加
- ・ 三鷹市事業者連絡協議会の研修参加
- ・ 三鷹市内の小学校での「職業人の話を聞く会」へ講師派遣
- ・ 普通救命講習の受講（全介護職員）

◇求人活動・広報活動

- ・ハローワークへ求人票掲載
- ・求人サービスのウェブサイトへ求人票掲載
- ・東京都の介護職員就業促進事業を利用した職員確保
- ・人材紹介会社へのアプローチ

◇外部の方の受入れ状況

- ・ハロウィンイベント（保育園児の兄弟姉妹が参加）
- ・よさこいチームによるダンス披露
- ・地域のボランティア団体による合同レクリエーション
- ・地域のボランティア団体によるお囃子披露

以上